

美浜町地域福祉活動計画



ふれあいネットワーク

社会福祉法人 **美浜町社会福祉協議会**

〒644-0044

和歌山県日高郡美浜町大字和田1138番地の326

(美浜町地域福祉センター内)

TEL 0738-23-5393

目 次

第1章 計画の策定にあたって	1
1. 計画策定の背景と目的.....	1
2. 地域福祉とは	2
3. 計画の概要.....	3
第2章 地域福祉の将来像と基本目標.....	5
1. 地域福祉の将来像	5
2. 地域福祉の基本目標	6
3. 地域福祉の施策体系	8
第3章 地域福祉施策の展開.....	9
基本目標1 地域福祉の関心と人材を育むしくみづくり	9
基本目標2 地域でつながり、支え合うしくみづくり.....	11
基本目標3 地域で心豊かに暮らせるしくみづくり	17
※その他の事業.....	18
資料編	19
福祉のはなし みんなで話そう！ これからの〇〇地区の地域づくり	19

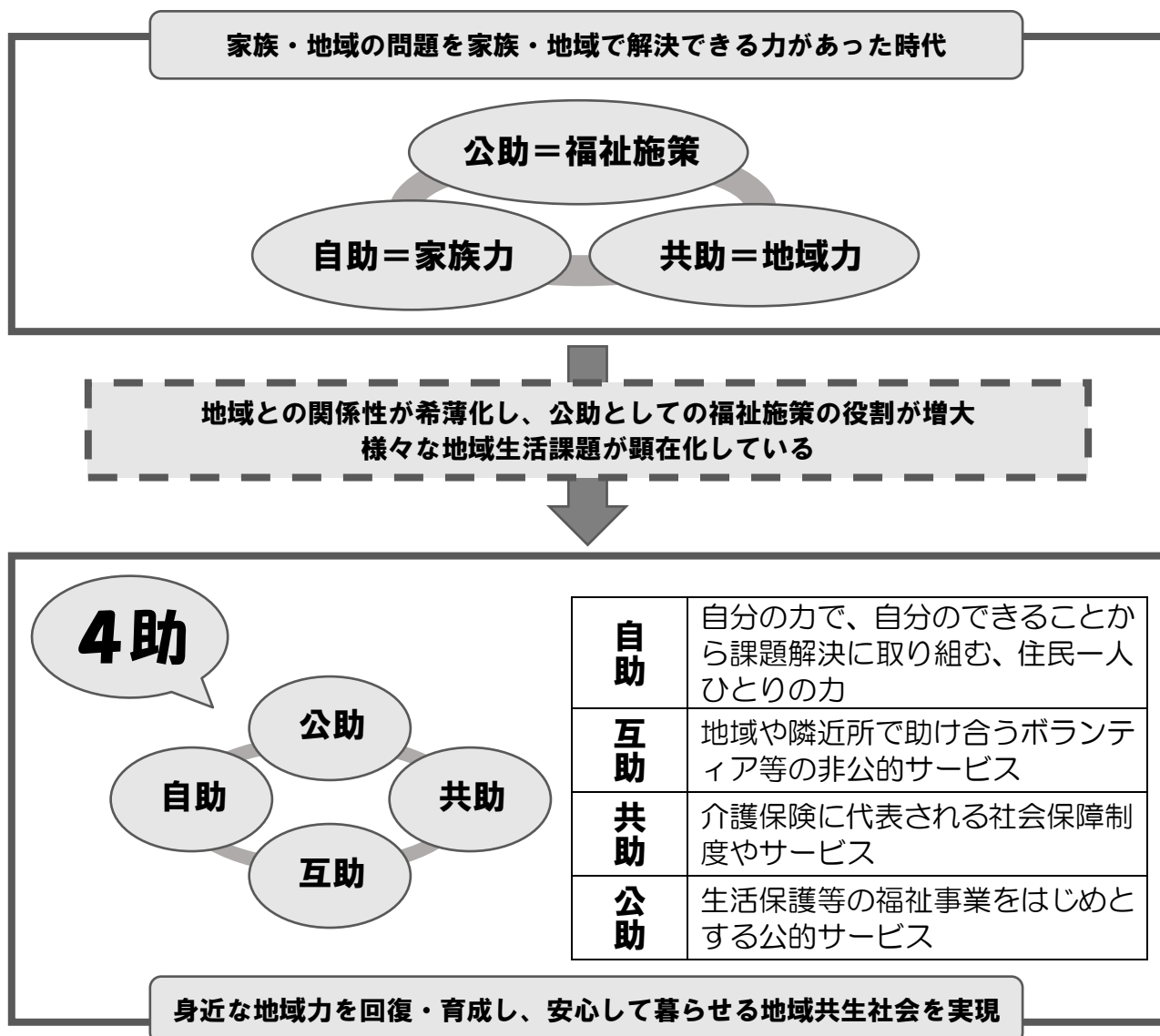
第1章 計画の策定にあたって

1. 計画策定の背景と目的

近年、少子高齢化の進展により人口減少社会に突入するとともに、単身世帯の増加や近隣住民の関係が希薄化する中で、社会から孤立する人々が生じやすい環境となってきました。また、経済状況の変化などにより、経済的困窮や社会的孤立の状態にある生活困窮者をめぐる問題も深刻化しています。

2000年（平成12年）に社会福祉事業法が改正され「社会福祉法」となり、個人の自立支援、利用者による選択の尊重、サービスの効率化などを柱とした新しい社会福祉の方向性が示され、「地域福祉の推進」が社会福祉の基本理念の一つとして位置づけられました。

また、2017年（平成29年）には社会福祉法が介護保険法等とともに改正され、国は、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係をを超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともにつくっていく『地域共生社会』を目指しています。



地域福祉の推進により「地域共生社会」の実現を目指すためには、これまでの生活支援を必要とする方への行政からのサービス給付という形だけではなく、地域住民同士の支え合い・助け合いが必要不可欠となってきます。こうした中で、高齢者をはじめ、誰もが地域の中で安心して、生きがいを持って生活していくためには、生活基盤となる地域において、お互いに助け合うしくみをつくっていくとともに、地域住民がボランティア等の福祉団体や民間事業者とともに、行政と協働して地域福祉をすすめていく必要があります。



こうした背景から、美浜町では、住民をはじめ関係機関や地域団体等との協働をすすめ、誰もが安心してつながりながら住み続けられるよう、地域の様々な生活課題の解決に向けて取り組みを一層推進していくため、「美浜町地域福祉計画」を策定しました。

そして、美浜町社会福祉協議会においては、「美浜町地域福祉計画」で示された方向性を、より具体的な地域の活動へとつなげていくために、「美浜町地域福祉計画」とともに、町の地域福祉推進の両輪となる「美浜町地域福祉活動計画」を策定することとしました。

2. 地域福祉とは

「地域福祉」とは、手助けや支援を必要としている人が抱える生活上の様々な問題や課題を、高齢者や障害のある人、子どもといった対象別ではなく、自分たちが住んでいる「地域」を中心に考え、誰もが安心して自立した生活を送ることができるよう、地域のつながりを深め、人々がともに助け合いながら、暮らしやすいまちづくりをすすめていこうとする取り組みのことを言います。

3. 計画の概要

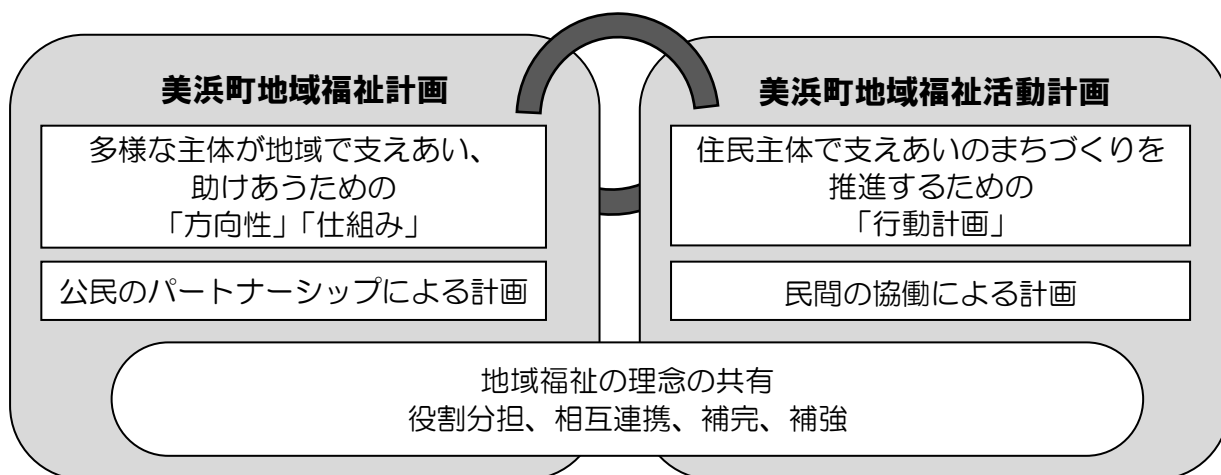
(1) 地域福祉活動計画と地域福祉計画の関係性

美浜町では、様々な課題に対して、地域が一丸となった取組を進めるために、「美浜町地域福祉計画」を策定しています。

「美浜町地域福祉活動計画」は、こうした行政の取り組みの流れを受けて、「美浜町地域福祉計画」で示された方向性をより具体的に進めるための計画として位置づけられます。

2つの計画は、地域における地域福祉を進めるための、いわば車の両輪です。

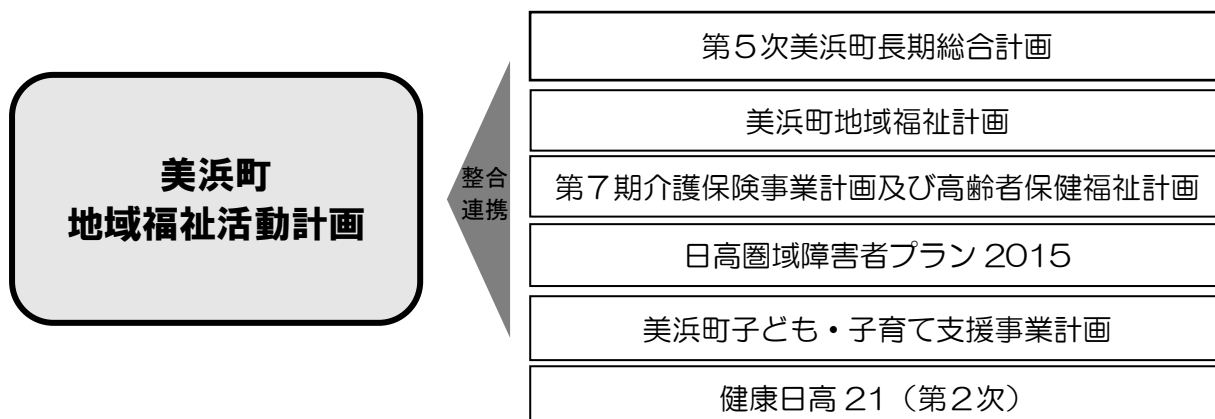
「美浜町地域福祉計画」は地域福祉推進のための方向性や考え方を示すとともに、推進に向けた仕組みをつくるための計画であり、本計画は住民主体で支えあいのまちづくりを推進することを目的として策定する、より具体的な行動計画となります。



(2) 町の各行政計画との関係性

「美浜町地域福祉計画」は、「第5次美浜町長期総合計画」を最上位計画とし、将来ビジョンである「緑と絆で築くまち 美浜」の実現に向け、健康・子育て・障害のある人・高齢者・地域福祉の分野でのまちづくりの基本目標である「笑顔と健康 みんなで育む まちづくり」との整合を図りながら策定しています。

本計画においては、こうした町の行政計画とも一定の整合を図るとともに、相互に連携した取り組みを進めていきます。



(3) 計画期間

この計画の期間は、2019 年（平成 31 年）度から 2023 年度までの5年間とします。
また、計画の進行管理を行うとともに、必要に応じて内容の見直しを実施します。

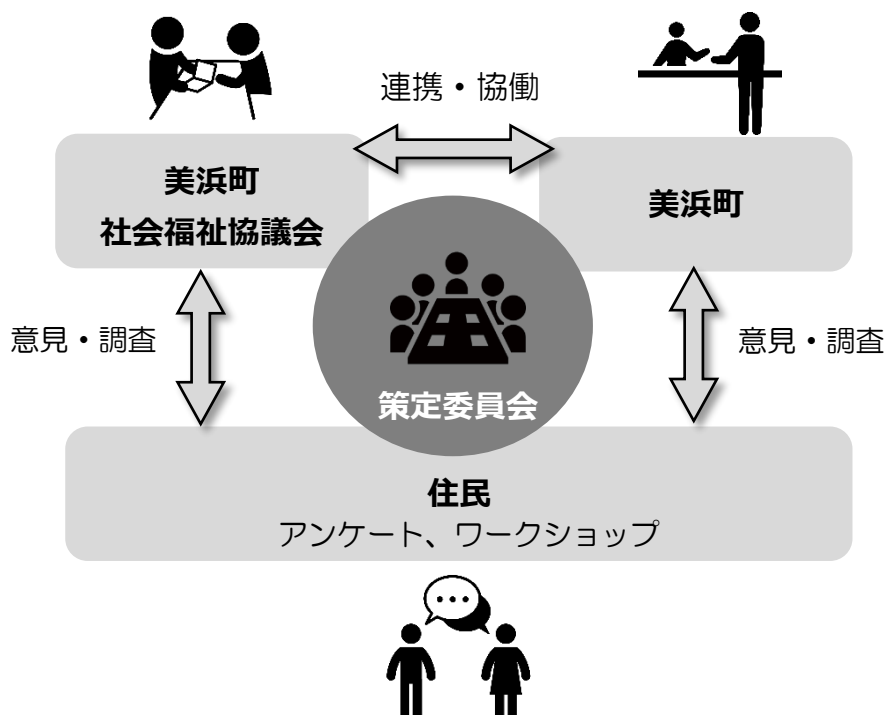
■計画の期間

2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
	美浜町地域福祉活動計画					第2次計画	
	美浜町地域福祉計画					第2次計画	

(4) 計画の策定体制

計画の策定にあたって、住民の意見・意向を十分に把握し、地域の主要な課題や特性を明らかにした上で計画の策定をすすめるため、様々な調査・分析などを実施しました。

■地域福祉計画の策定体制



第2章 地域福祉の将来像と基本目標

1. 地域福祉の将来像

本町では、「第5次美浜町長期総合計画」において、「緑と絆で築くまち 美浜」を将来ビジョンとして掲げ、縁や絆といった“つながり”を重視しながら、まちづくりに取り組んでいます。

一方で、様々な社会変化に伴い、地域活動や福祉活動における“つながり”のあり方として、介護保険サービスや障害福祉サービスなどの公的福祉サービスの展開・充実をはじめ、地域における住民・団体の“つながり”の重要性が再認識されています。

そのような中、現在では、複合的な課題を抱える人々への包括的な支援や、住民が相互に支え合い住民主体で解決できるしくみが求められており、こうしたしくみを構築していくためには、地域住民一人ひとりが自らの暮らす地域や地域それぞれの生活課題に関心を持ち、ひとりでも多くの住民が地域福祉活動に主体的に参加・参画する環境を整えていくことが重要になります。

このような流れを受け「美浜町地域福祉計画」と「美浜町地域福祉活動計画」では、住民とともに誰もが安心して住み続けられる福祉のまちづくりを目指して、地域福祉の将来像を「みんながつながる 笑顔と安心のまち」として掲げます。

地域福祉の将来像

みんながつながる 笑顔と安心のまち



2. 地域福祉の基本目標

地域福祉の将来像である「みんながつながる 笑顔と安心のまち」を実現するため、本計画の基本目標を次のように設定します。

基本目標 1 地域福祉の関心と人材を育むしくみづくり

町では多様な福祉サービスが提供され、また、地域における活動も行われていますが、こうした町や地域の活動団体などのさまざまな取り組みや情報について、住民・地域に十分に浸透しているとは言えない状況です。

地域福祉を推進していくためには、その主役である住民一人ひとりが、地域の情報を主体的に得ようと努めること、自分自身や地域の問題・課題について考えるための知識を蓄積すること、その助けとなるコミュニティとのつながりを得ること、問題や課題の解決に向けて取り組んでいくための手段やしくみを知ることが重要です。

そのためには、情報の発信者である町や活動団体は、住民に対してサービスや地域コミュニティに関わる情報を分かりやすくかつ積極的に発信・提供する必要があります。

また、地域コミュニティ活動が活発に行われ、住民一人ひとりが地域福祉の担い手となる基盤を作るのは「ひとづくり」（人材育成や教育）です。

福祉に関わる知識・情報を広く伝え、今の世代が先達から受け継ぎ培った知識・ノウハウを次の世代に伝えていくことが重要です。

◆情報発信

◆福祉教育（福祉人材の育成）

基本目標 2 地域でつながり、支え合うしくみづくり

少子・高齢化の進展、家族構成の核家族化、経済の低成長期への移行など、社会経済情勢の変化に伴い、個人の価値観やライフスタイルは多様化し、地域を取り巻く問題・課題も同様に多様化しています。

地域におけるこうしたさまざまな問題・課題に対して、これを解決・支援していくためには、地域住民や特定非営利活動法人（NPO）・ボランティア団体等の住民組織、社会福祉協議会・企業等の社会福祉事業者がそれぞれの立場から身近な問題としてこれを捉え、互いに協力し合えるようなしくみの構築が不可欠です。

町は、行政としての施策を実施することに加え、地域におけるこうしたしくみづくりを支援するとともに、それぞれの地域における福祉活動に対しても支援していくことが重要です。

地域福祉の主役は、子どもから高齢者まで、支援する人も支援される人も含め、美浜町に暮らすすべての住民です。

美浜町社会福祉協議会は、主役である住民と行政や関係団体等との懸け橋となり、それぞれの地域の実態等を踏まえながら、地域特性に応じた具体的な活動を通じて、地域課題の解決を図っていくことが期待されています。

住民と地域の福祉活動団体、町の三者が地域の課題解決について協働し、地域で支え合うしくみを作ることが求められています。

- ◆地域コミュニティ・地域活動の創造・強化
- ◆地域における安心と見守りの体制構築
- ◆福祉サービスの充実

基本目標3 地域で心豊かに暮らせるしくみづくり

美浜町に暮らす住民には、一人ひとりに顔があり、それぞれが異なる個性や夢をもって暮らしています。

地域共生社会における豊かさとは、たくさんあることではなく、多様であることだと考えます。美浜町に暮らす一人ひとりの多様性と、それを互いに尊重し、認め合うことこそが美浜町の豊かさであり、本計画の目指す「みんながつながる 笑顔と安心のまち」の実現に必要不可欠なことであると考えます。

また、その人らしく暮らしていくためには、自分の意思を伝え、自分のやりたいことに対し自己決定を行うことが重要です。

美浜町に暮らす誰もが、その人らしく暮らしていくこと、個人の個性を活用して社会参画できること、が可能となる様々なしくみづくり・環境づくりに取り組んでいくことが重要です。

- ◆地域における社会参画と活躍への支援
- ◆権利擁護の推進

3. 地域福祉の施策体系

将来像	基本目標	基本施策	取り組み
みんなが つながる 笑顔と安心の まち	地域福祉の関心と 人材を育むしくみづくり	情報発信・情報提供の充実	○社協広報紙の発行 ○社協ホームページの運営
		福祉教育（福祉人材の育成）	○ボランティア講座の開催 ○家族介護教室や在宅介護者の集いへの参加促進 ○「つながり助け合う地域づくり講座」活動事業
	地域でつながり、 支え合うしくみづくり	地域コミュニティ・地域活動の 創造・強化	○ボランティアセンター事業 登録・相談・斡旋事業 ○学校における福祉教育の推進 ボランティア協力校の指定 ○地域巡回ふれあいいきいきサロン事業
		地域における安心と見守りの 体制構築	○訪問給食サービス（配食）事業 ○「愛の日」一人暮らし老人、老夫婦世帯等訪問 事業 ○「愛の電話訪問」活動 ○避難行動要支援者の把握と支援 ○災害ボランティアセンター等防災研修会他関係 事業への取り組み
		福祉サービスの充実	○家族介護用品（紙オムツ等）助成事業 ○在宅介護用品及び社協備品の貸与事業 ○生活福祉資金の貸付業務 ○「ささえ愛」介護サービス事業 ○総合的な相談支援
	地域で心豊かに 暮らせるしくみづくり	地域における 社会参画と活躍への支援	○外出支援サービス事業（移送サービス） ○みはま健康教室フォローアップ事業 ○元気高齢者生活支援事業・シルバー人材セン ター事業
		権利擁護の推進	○福祉サービス利用援助事業 ○成年後見に関する事業
	※その他の事業		○共同募金活動の推進

第3章 地域福祉施策の展開

基本目標1 地域福祉の関心と人材を育むしくみづくり

(1) 情報発信・情報提供の充実

ライフスタイルの多様化等に伴い、住民が求める地域情報・福祉情報も多様化しています。

情報の発信・提供にあたっては、住民や地域が必要とするサービス等の情報をわかりやすく伝えるとともに、提供するための媒体についても、携帯電話・スマートフォン等の普及を踏まえながら、提供する情報の種類・特性に応じた媒体活用を図っていくことが求められます。

主な取り組み

取り組み	取り組み内容
社協広報紙の発行	社会福祉協議会の広報誌の発行を通して、社会福祉協議会に関する情報を周知します。事業や活動内容、福祉サービス等の情報提供を実施します。
今後の方向性	
<ul style="list-style-type: none">●今後も引き続き事業に取り組みます。●幅広い方に読んでいただけるよう、サービス一覧を記載するなど、分かりやすい掲載内容や掲載方法の工夫を行います。	

取り組み	取り組み内容
社協ホームページの運営	社会福祉協議会が運営するホームページにおいて、社会福祉協議会の事業や活動内容、福祉サービス等の情報提供を実施します。
今後の方向性	
<ul style="list-style-type: none">●今後も引き続き事業に取り組みます。●特に、障害福祉サービスに関する情報提供と障害者に分かりやすい情報発信を行います。●幅広い方に読んでいただけるよう、掲載内容やページのデザイン等に工夫を行います。	



(2) 福祉教育（福祉人材の育成）

地域福祉の主体的な担い手となる人材を育成していくためには、住民一人ひとりの福祉意識の啓発・向上を図るなど、地域福祉や地域についての関心と興味をもつ住民を一人でも多く増やし、地域福祉のすそ野を広げることが重要になってきます。

加えて、福祉サポーター（認知症サポーターやボランティアリーダー等）の育成を図り、地域における福祉人材の育成・発掘を通じて、住民参加型の福祉活動の充実を図っていきます。

主な取り組み

取り組み	取り組み内容
ボランティア講座の開催	美浜町地域福祉センターにおいて、「夏休みふれあい初級手話教室」や「福祉協力研修会情報交換会」といった講座を開催し、福祉サポーターやボランティアの養成を目的とした講座を開催します。
今後の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ●今後も引き続き事業に取り組みます。 ●福祉協力員等と協力しあい、福祉サポーターの育成に取り組みます。 ●ボランティアシニアリーダーなどの養成に努めます。 	

取り組み	取り組み内容
家族介護教室や在宅介護者の集いへの参加促進	介護をしている家族等に対し、介護疲れ等からの虐待予防や福祉サービスの利用を支援した「在宅介護者のつどい」を開催するとともに、参加促進を図ります。
今後の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ●今後も引き続き事業に取り組みます。 ●介護をしている方の不安や負担を取り除けるよう、介護に関する周知・啓発のための講座・教室の内容の検討を行います。 	

取り組み	取り組み内容
「つながり 助け合う地域づくり講座」活動事業	「地域のなかで、つながりを持ち、思いやりをもって共に支え合いながら、自分らしく活躍するそんな地域にしたい。」そんな思いを目的に、「つながり 助け合う 地域づくり講座」を開講し、さまざまな内容の講座を実施する事業です。
今後の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ●今後も引き続き事業に取り組みます。 ●多様化する生きがいに応じた、幅広い内容による講座を開催します。 ●福祉教育による地域福祉推進の基盤づくりとつながりづくりをめざします。 	

基本目標２ 地域でつながり、支え合うしくみづくり

（１）地域コミュニティ・地域活動の創造・強化

地域における住民相互の結びつきは、「自治会など地縁的な関係で構築された絆」「子育てを通して構築された絆」「公民館などのサークル活動を通して構築された絆」「NPO・ボランティア活動を通して構築された絆」等があり、こうした様々な結びつき・絆による仲間の集まりをコミュニティとして捉えることができます。

近年では、情報通信技術の普及等により、地域を超えた様々な結びつき・絆の創出が可能となっている反面、都市化や少子・高齢化などを背景に、家族そのものの規模（世帯人員）が小規模化するとともに、それぞれの暮らす身近な地域との地縁的な結びつき・絆が希薄化しています。

身近な地域の身近な問題を発見し、それを地域の課題として地域のみんなで共有し、解決していくためには、それぞれの暮らす身近な地域における結びつき・絆を創造・強化していくことが不可欠です。

美浜町に暮らす誰もが、それぞれの暮らす地域のコミュニティの一員として、地域福祉の担い手であるという意識をもつことが重要です。

主な取り組み

取り組み	取り組み内容
ボランティアセンター事業 登録・相談・斡旋事業	ボランティア活動に参加するための登録を行い、ボランティア活動に従事する個人や団体に、ボランティア保険加入助成や、コーディネーターを設置しボランティア活動に関する相談、斡旋業務にあたる事業です。
今後の方向性	
●今後も引き続き、情報収集に努め、情報発信を行っていき ます 。	
●ボランティアセンター機能を強化し、活動しやすい体制づくりに努めます。また、若い世代の地域活動、ボランティア活動への参加を促進していきます。	

ボランティア活動者数（平成31年3月末現在）

社会福祉協議会に登録するグループ	
個人ボランティア（グループに所属していない個人）	2名
ボランティア活動を目的としたグループ	18団体・517名
社会福祉協議会が把握するグループ	
ボランティア活動を目的としたグループ	6団体・1,259名

取り組み	取り組み内容
学校における福祉教育の推進 ボランティア協力校の指定	<p>学童・生徒の頃から高齢者・障害者等との交流体験として、福祉体験活動やボランティア活動を行うことで、子どもたちの福祉への関心を育むことを目的とする事業です。</p> <p>町内すべての小・中学校をボランティア協力校に指定し、事業を実施しています。</p>
今後の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ●今後も引き続き事業に取り組みます。 ●教育機関における福祉教育を推進し、未来を担う子どもたちの「福祉の心」を育てます。 	

取り組み	取り組み内容
地域巡回ふれあい いきいきサロン事業	<p>町内の各地域を巡回し（13ヶ所）サロンを開設し、交流活動を実施する事業です。</p> <p>サロンでは、健康体操や茶道教室を実施し、心と体の健康づくりを支援します。</p>
今後の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ●今後も引き続き事業に取り組みます。 ●「いきいき 100 歳体操」との連携の中で、「通いの場」と互助への発展に取り組みます。 ●サロン活動に関する周知を図るとともに、ボランティア等の養成を行い地域のつながりづくりを深めるサロン活動の支援を行っていきます。 	



(2) 地域における安心と見守りの体制構築

近年、高齢者のひとり暮らしなど、地域や社会との関わりが薄れがちな人々が増加しており、孤立死といった社会問題への対応を含め、いかに地域で見守り体制を整備・創出していくかが問われています。

身近な地域に暮らす仲間として、地域や地域に暮らす住民への関心をもつことは、ひとり暮らし高齢者などの地域からの孤立化を防ぐだけでなく、様々な地域の問題・課題の発見という観点から重要なことです。

災害時などにおいて不可欠となる地域の助け合いは、地域の人々との日頃からのつきあいがあり、コミュニケーションが取れていることが基本です。

こうした観点から、地域における常日頃の見守り活動やそのためのしくみづくりについて支援していく必要があります。

主な取り組み

取り組み	取り組み内容
訪問給食サービス (配食) 事業	一人暮らしや虚弱な高齢者等に昼食を配食することで、孤独感の解消による自立した生活維持をはかり、利用者の実態把握と安否確認、地域における見守りネットワークを目的とした事業です。
今後の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ●今後も引き続き事業に取り組みます。 ●件数として増加傾向であり、複数回の利用者も増えているので、そういった現状も踏まえ人材確保等を考慮しつつ事業に取り組みます。 	

取り組み	取り組み内容
「愛の日」一人暮らし老人、老夫婦世帯等訪問事業	民生児童委員さんによる担当地区の75歳以上の一人暮らし及び老夫婦世帯の訪問を実施する事業です。 安否の確認を実施し、社会的孤立の防止に努め、また、生活上の困りごとなど福祉ニーズの把握に努めています。
今後の方向性	
●今後も、「顔の見える関係性づくり」を行い、引き続き事業に取り組みます。	



取り組み	取り組み内容
「愛の電話訪問」活動	地域福祉センターの電話ボランティアさんにより、75歳以上の一人暮らし高齢者を中心に、電話による訪問活動を実施する事業です。 福祉ニーズの早期発見につなげることを目的としています。
今後の方向性	
●今後も引き続き事業に取り組みます。	

取り組み	取り組み内容
避難行動要支援者の把握と支援	各地区の民生児童委員、福祉協力員との連携を図りながら本人の同意のもと、要支援者の把握と支援ができる体制づくりに取り組みます。
今後の方向性	
●今後も引き続き民生児童委員との連携のもと、避難行動要支援者の把握に取り組みます。 また、福祉協力員との連携した支援ができる体制づくりに努めます。	

取り組み	取り組み内容
災害ボランティアセンター等 防災研修会他関係事業 への取り組み	防災に関する事業として、以下の3つを実施します。 1. 町および社会福祉協議会の連携による協力体制の強化を図っていく 2. シニア災害ボランティアシンポジウムの開催 3. 町防災研修会の開催と参加の促進
今後の方向性	
●今後も引き続き、安心見守りネットワークの推進を図ります。 ●防災訓練において、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練の 実施を検討します 。 ●災害時の対応について、町の皆様が安心できるよう支援していきます。 ●災害ボランティアセンター設置運営に関する、職員のスキル向上に取り組みます。	



(3) 福祉サービスの充実

少子高齢化、核家族化の進行等の社会変化が進む中、福祉サービスへのニーズは増大するとともに複雑化・多様化しています。そういった近年の福祉サービスのニーズの多様化に対して、きめ細かに対応していくことが求められています。

社会福祉協議会は、社会保険制度やサービスをはじめとした事業やサービスを実施しています。地域に暮らす方の自立した生活を支援するため、今後もサービスの提供を行い、住民の福祉向上を図ることが重要です。

主な取り組み

取り組み	取り組み内容
家族介護用品（紙オムツ等） 助成事業	在宅で要介護者を介護する家族に介護用品を支給することにより、その家族の経済的負担軽減を図り、在宅生活の継続・向上を図る事業です。 1人あたり月 3,000 円を限度としてクーポン券を支給しています。
今後の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ●今後も引き続き事業に取り組みます。 ●利用が増加傾向なので、それを踏まえて事業に取り組みます。 	

取り組み	取り組み内容
在宅介護用品及び 社協備品の貸与事業	介護保険とは別に、社協単独で実施している介護用品の貸出事業です。 介護貸与用品及び社協貸出備品の種類としては、車椅子・介護ベット・エアーマット・ポータブル浴槽・布団乾燥機・洗髪器・スロープ・歩行器・ポータブルトイレ・テントがあります。
今後の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ●車いすやポータブルトイレの貸出が多くなっているので、買換えや修理等を踏まえて、今後とも引き続き事業に取り組みます。 	

取り組み	取り組み内容
生活福祉資金の貸付業務	低所得者・障害者・高齢者・離職者世帯の自立・生活支援、社会参加促進のための貸付を行う事業です。 また、生活福祉資金相談も実施しており、貸付や償還・据置について相談に応じています。
今後の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ●今後も民生委員会と連携し、複合的な生活課題に対する関係機関との情報共有や相談支援を行います。 ●引き続き、事業の周知や相談対応を実施し、必要としている方へ支援が届くよう努めます。 	

取り組み	取り組み内容
「ささえ愛」 介護サービス事業 (介護保険外の ホームヘルプサービス)	介護保険制度や自立支援制度では対応できない方へのサービスや、突発的・一時的に必要なサービスを提供することで、自立した日常生活をサポートすることを目的とした事業です。 外出時の見守り、病院の付き添い、通院の同行、ご自宅での身の回りのお世話など、生活全般をサポートします。
今後の方向性	
●今後も引き続き、サービスの多様化を検討し本事業に取り組みます。	

取り組み	取り組み内容
総合的な相談支援	相談所を開設し、住民相談や法律相談を受ける事業であり、様々な内容の相談に応じます。 また住民による相談に関しては、相談所開設時以外においても、相談を受け付けています。
今後の方向性	
●地域を取り巻く課題が複雑化・深刻化・複合多問題化している中、包括的な支援体制の構築が求められており、地域包括支援センター等との関係機関と連携を強化していくことが必要です。	
●今後も引き続き事業に取り組みます。	

心配ごと相談・法律相談・その他各種相談

①心配ごと相談
開設：毎月第2水曜日 13:00～15:00 場所：美浜町地域福祉センター相談室及び研修室
②法律相談（弁護士による法律相談）※要予約
開設：毎月第3水曜日 13:00～15:30 場所：美浜町地域福祉センター3階研修室
③ボランティア相談（ボランティアに関する総合相談）
開設：月～金曜日 9:00～17:30
④福祉貸付相談（生活福祉資金・緊急小口資金）
開設：月～金曜日 9:00～17:30
⑤福祉サービス利用援助事業・成年後見に関する相談
開設：月～金曜日 9:00～17:30
⑥介護サービスの悩み事相談窓口（介護に関する相談）
開設：月～金曜日 9:00～17:30

基本目標3 地域で心豊かに暮らせるしくみづくり

(1) 地域における社会参画と活躍への支援

住民一人ひとりがそれぞれの個性や夢に応じて、生きがいとなるような自己実現に向けたいきいきとした暮らしができるよう、そのための支援が重要です。

自己実現のあり方・あり様は様々ですが、まずは健康であることを第一に、自身の個性を踏まえながら、高齢者の就業意欲や身近な地域活動への参加意欲を就業やボランティア活動などに結びつけることができるようなしくみづくりを構築・強化していくことが重要になります。

主な取り組み

取り組み	取り組み内容
外出支援サービス事業 (移送サービス)	一般の交通機関を利用することが困難な方に対し送迎を実施し、生活の利便を図る事業です。 通院のための病院送迎が主な目的となります。
今後の方向性	
●今後も引き続き事業に取り組みます。 ●事業の周知も行い、必要とする方が利用できるよう努めます。	

取り組み	取り組み内容
みはま健康教室 フォローアップ事業	○みはま健康教室 和歌山シニアエクササイズのメニューにより、ステップ運動やストレッチ運動を行う事業です。 ○研修会及び会員親睦事業の実施 会員の親睦を深め、わかやまシニアエクササイズリーダー研修会への参加でリーダーの養成を行います。
今後の方向性	
●今後も引き続き介護予防を効果的に図るため、介護予防意識の普及や介護予防活動への支援を行っていきます。	

取り組み	取り組み内容
元気高齢者生活支援事業・ シルバー人材センター事業	高齢者の地域生活を元気高齢者が支えるシステムの構築とシニア層の社会参加を通じて「生きがいづくり」と「生活支援」を目的に展開する事業です。
今後の方向性	
●今後も引き続き事業に取り組みます。 ●活動の周知を図りながら、会員の確保と活動の拡大に努めます。	

(2) 権利擁護の推進

都市化や核家族化の進展により、高齢者世帯やひとり暮らし高齢者が増加するとともに、近年では特に認知症高齢者の増加も大きな問題となっています。

住民誰もが住み慣れた地域で尊厳をもって暮らしていくために、支援を必要とする世帯に対しては、民生委員・児童委員を中心に地域で住民相互の見守り活動等を通して、異変の早期発見に努めるなど、地域における支え合いのしくみが重要になってきます。

また、権利擁護事業や成年後見制度などの制度的なしくみの活用を選択肢としてもてよう、こうしたしくみについての周知・普及を図っていくことも重要になります。

主な取り組み

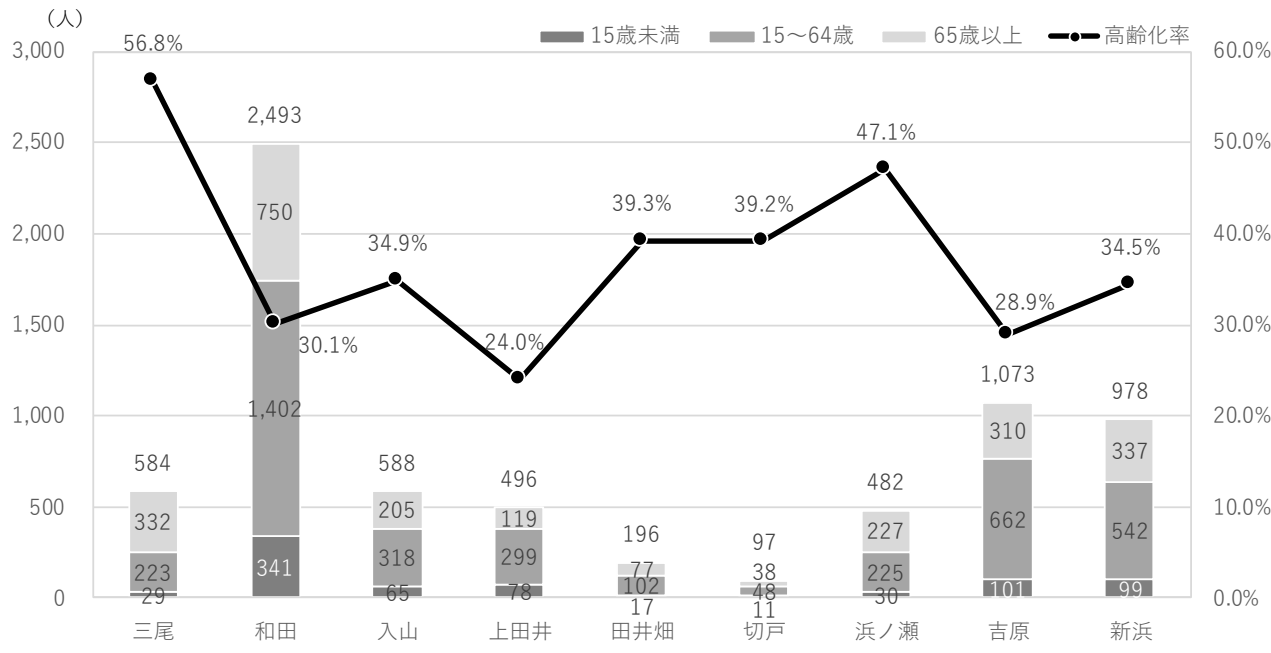
取り組み	取り組み内容
福祉サービス利用援助事業	判断能力が十分でない高齢者や障害者の福祉サービスの利用を支援し権利を守る事業です。 事業の利用に関する相談や訪問を実施します。
今後の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ●今後も引き続き事業に取り組みます。 ●引き続き相談や訪問を実施し、利用者に寄り添った支援を実施します。 ●件数は増加傾向でもあり、事業の周知と件数の推移を踏まえた利用促進に取り組みます。 	

取り組み	取り組み内容
成年後見に関する事業	成年後見制度に関して家庭裁判所御坊支部・田辺支部調査官と協働で活動を実施しており、情報提供、身上監護と財産管理等を行っています。 障害者自立支援法の関係もあり、和歌山病院重心施設入寮者で成年後見を希望される方に対し家裁へ申立てを行い成年後見（法人後見）に至っています。
今後の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ●今後も引き続き事業に取り組みます。 ●成年後見制度についての周知も行います。 	

※その他の事業

取り組み	取り組み内容
共同募金活動の推進	共同募金（赤い羽根募金・歳末たすけあい募金）活動として、町内の皆さまのご協力を得て、共同募金運動を展開します。
今後の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ●今後も引き続き事業に取り組みます。 ●募金活動を通して社会福祉協議会の活動について知ってもらい、きっかけ作りを行います。 	

地区ごとの年齢別人口と高齢化率



※住民基本台帳（平成31年12月31日時点）
※在宅で生活している人のみ（老人ホーム、病院他は含まれない）

福祉のはなし みんなで話そう！ これからの〇〇地区の地域づくり

本計画の策定にあたり、より多くの地域住民の皆さんの声をお聞きするため、各地区のサロンに参加されている方に、今後の地域づくりについてうかがいました。

地区ごとの意見内容

地区	三尾		本の脇	
	介護予防	生活支援	介護予防	生活支援
すでに地区にある社会資源	・地域のサークル活動が盛んである。移動のこともあり、町の教室への参加者は少ない。	・漁業が盛んに行われており、魚や野菜をご近所のおすそ分けしている買い物は、移動販売が来ている。区や老人クラブで行事が行われている。	・グラウンドが近く、老人クラブでゲートボールが盛んに行われている。町の教室に参加している人が少ない。畑仕事をしている人が多い。	・お正月に老人クラブからお餅・洗剤をくれる。買い物は、移動販売が来ている。
今後必要となる社会資源	・今のままで良い。	・朝早いバスが欲しい、バスの時間が悪い。 ・コミュニティバスが欲しい。 ・交通手段が一番困る。 ・近くに病院・店がない。 ・通いの場に来ることは運動になり活力になって良い。 ・子供の遊ぶところがない。 ・津波のとき避難所がない。	・歩いていけるような近くに教室がほしい。 ・出ていく場があったらいい。 ・行事がない（行事があっても集まりにくい・・・）	・バスの本数が少ない。町のバスが本の脇でも停まってほしい。 ・お墓参りに行くときなど、ちょっと乗せていってほしい。 ・買い物が困る（特に大きいもの）。目でみて買いたい！ ・可燃と大型ごみを出すのが困る。 ・緊急時に押せるブザーなど、年齢関係なく使える仕組みがほしい。 ・介護でちょっと困った時に助けてくれる仕組みがほしい。
ニーズ		・移動（バスの問題・通院・買い物） ・子供の遊ぶところ ・避難所	・通いの場 ・行事がない、あっても集まりにくい	・移動（バスの問題・買い物・墓参り） ・ゴミ出し ・緊急時に対応できる仕組み ・介護でちょっと困った時に助けてくれる仕組み

地区	和田西		和田西中	
	介護予防	生活支援	介護予防	生活支援
すでに地区にある社会資源	<ul style="list-style-type: none"> 地域のサークル活動や町の教室に参加している。老人クラブで史跡巡り、議会傍聴、お花見、秋の遠足などの行事がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 班や老人クラブが祭りの手伝いを行っている。買い物は、移動販売が来ている。地域のサークルで体操以外にも健康についてなどの情報共有の場になっている。地区の子供の顔が分からないなど、世代を超えた地区のつながりが希薄になってきているとの声もあがっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のサークル活動や町の教室に参加している。老人クラブの活動も行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> 老人クラブと子供クラブとの交流があるなど、地域で自然と見守りを行っている。地域のサークル活動後お茶会なども行われている。シルバー人材センターに登録している人が多い。買い物は、移動販売が来ている。
今後必要となる社会資源	<ul style="list-style-type: none"> 百歳体操楽しみ。週1回丁度良い。 男性が参加できる仕組みが欲しい。 会場に出て来れない人をどうするか。新しい会員を増やすためにどう声かけをしたらいいだろう？ 少しでも顔見知りになれたらつながりができる。 サロンを1階でできないかな？（階段を昇るのが負担） 全世代参加できるサロンも良い。 参加型のサロンの内容にしてみても良いかも。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で出かけられない人の交通手段があれば良い。 大型ゴミを持って行くのが困る。 悪質詐欺なハガキや電話の情報交換を地域でできる場が欲しい。 声かけをしても良いか分からないので出来ない。 当日か前日に呼びかける仕組みがあったら良い。（区の放送など） 子供会と寿会で交流できたら良い。 土足で入っていける関係作りが必要） 畜産センター1回を解放して子供が寄る場にしてはどうか？それを見守る人も必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化的な教室もしてほしい まつりん&ぼっくりん体操の指導に来てほしい 出て来にくい人が出てくれる方法を見つける サロン参加者が少ないため声かけ、前日放送 サロンの内容の見直し サロン月1回してほしい サロンで柏餅、ぜんざいを作りたい 男性の参加者が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 買い物、通院が心配 電球の交換、書類の整理、枝のせんていが心配 声かけ見守り活動 ボランティア活動の参加を呼び掛ける 地域の見守り支援ができていない 近所でおしゃべりやお茶するきかいかほしい 認知症が心配
ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 男性が参加できる仕組み 出てきてない人が出てくれる仕組み サロン 	<ul style="list-style-type: none"> 移動 ゴミ出し（大型ゴミ） 消費者被害 地域で声のかけ合える仕組み（全世代） 全世代が通える場 	<ul style="list-style-type: none"> 文化的な教室がほしい まつりん&ぼっくりん体操の指導 出てきてない人が出てくれる仕組み 男性が参加できる仕組み サロン 	<ul style="list-style-type: none"> 移動（買い物・通院） 介護保険外のサービスの問題 地域で見守る仕組み 通いの場が欲しい 認知症が心配
サロンに関する要望	<ul style="list-style-type: none"> 全世代が参加できるサロン サロンの内容の見直し（参加型の内容） 1階でしたい（階段を上がるのが負担） 		<ul style="list-style-type: none"> サロンの参加者（新規参加者、男性参加者）を増やすために内容の見直し サロンの頻度を増やす（1回/月） サロンで食べ物作り 	
地区	和田東		和田東中	
	介護予防	生活支援	介護予防	生活支援
すでに地区にある社会資源	<ul style="list-style-type: none"> 地域のサークル活動や町の教室に参加している。老人クラブも行われている。非常時に避難所の階段を登れる脚力づくりを意識して介護予防に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のサークル活動から自然と声かけ、見守りや見守りが行われている。地域で世代を超えて助け合いや行事が盛んに行われている。買い物は、家族に連れて行ってもらったりのり合わせで行っている。また、農家が多くの野菜の無人販売所がたくさんある。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のサークル活動や町の教室に参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のサークルの活動後にお茶会を行っている。買い物は、移動販売が来ている。JA女性会や婦人会の活動が盛んに行われている。また、区や老人クラブの行事が盛んに行われている。地域の子供クラブでは広報の配布を行っている。
今後必要となる社会資源	<ul style="list-style-type: none"> 百歳体操がよい。 （災害時避難できるように）脚力をしっかりつけておく。 百歳体操の場で体操以外にお楽しみの内容を教えて欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> 社協で歩行器の貸与はないの？ 自転車のパンクを直すところがない。 スロープで上げられる避難所が欲しい。 集会場を避難所にして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 百歳体操が良い。 男性の参加が少ない。 男性の料理教室があっても良い。 講演会のような内容なら男子が増えるかもしれない。 グランドゴルフを近くでできるところがほしい。 サロンの回数をもう少し増やして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 車にのれなくなったら買い物や通院が困る。 買い物は見えて買いたい。 コミュニティバスがあれば良い。 1回/月でボランティアの付き添いのもとコミュニティバスで買い物にいける仕組みがあれば良い。 有償ボランティアのあり方を考える。 ボランティアが介護の見守りをするのであれば講習会をしたほうが良い。 消費者被害の相談に対応してくれる仕組みが欲しい。
ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 百歳体操で体操以外の企画 	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険外のサービスの問題 避難所 	<ul style="list-style-type: none"> 男性が参加できる仕組み グランドゴルフをする場が近くに欲しい。 サロン 	<ul style="list-style-type: none"> 移動（買い物・通院） ボランティア 消費者被害
サロンに関する要望			<ul style="list-style-type: none"> サロンの回数を増やして欲しい。 	

地区	入山		上田井	
	介護予防	生活支援	介護予防	生活支援
すでに地区にある社会資源	・地域のサークルの活動や町の教室に参加している。個人で畑仕事をしている人が多く、農業を生きがいと感じている人が多い。椎崎～北裏は高齢者世帯が多く、空き家が増えている。	・畑仕事をしている人が多いので農作物のおすそわけをしている。区、老人クラブ、スポーツクラブ、子供クラブ、地域盛り上げたいが合同で活動し、世代間交流が盛んに行われている。買い物は、移動販売が来ている。	・地域のサークルの活動や町の教室に参加している。また、老人クラブや地区の活動を通じて交流を図っている。個人で畑仕事や農作業、ウォーキングを行っている。	・畑仕事をしている人が多いので農作物のおすそわけをしている。子どもが近くに住んでいる人が多く、ゴミ出しや買い物など、生活の頼みごとがしやすい環境である。スーパーが近く、買い物に行きやすい。区で年1回の旅行やなかよし会でお食事も行われている。
今後必要となる社会資源	・畑仕事しているから生涯現役。	・いつまでも寄れる送迎付きの通いの場が欲しい。 ・会場が1つのため、会場から遠い地区から参加者が少ない。 ・集まるときの移動手段が困る。 ・大型ゴミの集積場が2ヶ所のため遠い家だと大変。 ・空き家について相続や税金について相談できる分かりやすい窓口が欲しい。	・しゃべる・笑う・寄る場があるのが良い。 ・外で百歳体操をしてみたい。	・気にかけてあげる、みんなで助け合える仕組みが大切。 ・津波に備えて避難塔を集会場に建ててほしい。
ニーズ		・移動 ・ゴミ出し ・空き家に関する相続や税金	・外で百歳体操	・避難塔
地区	田井畑		浜ノ瀬	
	介護予防	生活支援	介護予防	生活支援
すでに地区にある社会資源	・地域のサークルの活動や町の教室に参加している。老人クラブで健康に関する講演会を企画している。	・地区の清掃活動に参加している。近くにスーパーがあり買い物に行きやすい。また、移動販売が来ている。	・地域の活動や町の教室に参加している。グランドが近くにあり、グランドゴルフなどの活動も盛んに行われているが、少しずつ参加者が減ってきている。老人クラブの活動も少しずつ少なくなっている。高台が近くにあり、非常時に高台へ登れるような脚力づくりを意識して介護予防に取り組んでいる。	・日頃から近所で見守りあいをしている。夏休みのラジオ体操の時、みんなで朝ごはんを食べている。また、区の行事も行われている。地域のサークルでは、みんながお話できるように会場を早めに関ける。買い物は、移動販売が来ている。
今後必要となる社会資源	・百歳体操を続けていきたい。 ・サロンは楽しいが人が少ない。 ・サロンの内容の見直し（参加型のものなど） ・いき百の後にお茶を飲んでお喋りしたい。 ・現役の人は、地域の集まりの場に参加してくれない人もいる。 ・会場の階段が怖い。	・今後車に乗れんようになってきたら買い物や通院が困ると思う。 ・避難所が松原地区館だと遠い。 ・町内放送が聞こえにくい。 ・隣近所が気軽に助け合えるような仕組みがほしい。 ・お助け隊があればいいな。	・いきいき百歳体操は毎週あるから良い ・男性の参加が少ない（そもそも男性が少ない）。 ・長生きしている人が耳が遠い人が多い。（耳トレをしたい）	・通院が困る。 ・買い物は見て買いたい。 ・ゴミの集積場のかごが重たい。かごを増やしてほしい。 ・予防接種の負担が大きい。
ニーズ	・サロン ・通いの場でのお茶会をしたい ・地域の集まりへの参加者が少ない ・会場の階段の問題	・移動（通院・買い物） ・避難所 ・町内放送 ・助け合いの仕組み	・男性の参加者が少ない ・耳トレをしたい	・移動（通院・買い物） ・ゴミ出し ・予防接種の負担が大きい
サロンに関する要望	参加者を増やすため内容の見直し（参加型のものがあればいい）			

地区	吉原西		吉原東	
	介護予防	生活支援	介護予防	生活支援
すでに地区にある社会資源	・地域のサークル活動や町の教室に参加している。老人クラブでランドゴルフなどの活動もされている。	・買い物は、移動販売が来ている。	・地域のサークル活動や町の教室に参加している。老人クラブでランドゴルフなどの活動もされている。	・買い物は、移動販売が来ている。防災訓練や運動会、盆踊りなど区の活動が盛んに行われている。
今後必要となる社会資源	・今のままがちょうどいい。集まって話するのが良い。 ・世話役の人が少なく、ストレスにならないか心配。 ・参加者が少なくなっている。参加意識を高めるのが難しい。	・見て買い物がしたい。お店に連れて行ってほしい。 ・道中の道が悪い ・粗大ゴミを出すのが困る。 ・お茶を飲んでおしゃべりができる場がほしい。 ・隣近所が助け合える仕組みがあったら良い。 ・近所の人を誘っていいのかわからない。 ・台風の避難場所が近くに欲しい。	・みんなで運動をする場がある。 ・体操の用具の無料貸し出しがあり、無料の教室なので良い。 ・あっちこっち寄れる場があるのが良い。	・交通手段がなくなったときに買い物や病院に行くのが不便になる。 ・粗大ゴミは車に乗れないようにしたら不便になる。 ・家に閉じこもっている人に声かけしたい。 ・一人暮らしの人が体調を崩したときに、誰かを呼べるかどうか心配。
ニーズ	・世話役の負担が大きい ・参加者が減少している	・移動（買い物・通いの場） ・ゴミ出し（粗大ゴミ） ・通える場が欲しい ・助け合える仕組みがない ・避難所		・移動（買い物・通院） ・ゴミ出し（粗大ゴミ） ・出てきてない人が出てくれる仕組み ・緊急時対応できる仕組み
地区	新浜			
	介護予防	生活支援		
すでに地区にある社会資源	・地区のサークルの活動や町の教室に参加している。ランドが近く、老人クラブや地域のサークルでランドゴルフやゲートボールの活動が盛んである。	・地域のボランティアによって広報の配布が行われている。また、シルバー人材センターに登録している男性が多い。婦人会は月1回の活動や通学時の子供の見守りを行っている。区、老人クラブ、婦人会、子供クラブが合同での活動もある。買い物は移動販売が来ている。		
今後必要となる社会資源	・今のままでいい。現状維持。 ・百歳体操を週2回にしてほしい。 ・男性が少ない。出てきてほしい人に出てきてもらえるような仕組みがほしい。	・自分の目で見て買いたい（コミュニティバス） ・通院が困る。（タクシー代が高い） ・大型ゴミ出すのが大変。 ・100円か200円持ち寄ってお茶できる場がほしい。 ・気軽に頼める人があったら良い。		
ニーズ	・百歳体操の回数を増やして欲しい ・男性が参加できる仕組み ・出てきてない人が出てくれる仕組み	・移動（通院・買い物） ・ゴミ出し ・通いの場（お茶できる場） ・助け合いの仕組み		

美浜町地域福祉活動計画
発行年月：平成 31 年 3 月
発行・編集：美浜町 社会福祉協議会

美浜町 社会福祉協議会
地域福祉センター
〒644-0044
和歌山県日高郡美浜町和田 1 1 38-326
電話：0738-23-5393
